

LRTの 早期着工を目指す市民大会 報告書



※写真はイメージです

平成29年 **9月2日** (土)

開場:午後2時／開演:午後2時30分～4時

栃木県総合文化センターメインホール

主催:LRTの早期着工を目指す市民大会実行委員会

LRTの早期着工を目指す市民大会 次 第

1. 開 会
2. 主催者あいさつ LRTの早期着工を目指す市民大会実行委員会 会長 関口 快流
3. 来賓祝辞
4. 講 演 講師 逢沢 一郎氏（衆議院議員・LRT 推進議員連盟会長）
テーマ「地方はどう変わる ～LRTがもたらすもの～」
5. 大会決議
6. 閉 会



活動趣意書

芳賀町・宇都宮市におきましては、人口減少、少子超高齢社会への対応、環境負荷の低減、地域の活性化などの観点から、さまざまな交通手段を組み合わせた公共交通の構築により、子どもから高齢者まで、誰もが快適に移動することができ、人が生き活きと暮らし、企業が活発に活動する「交通未来都市 うつのみや」を目指し、その軸となるLRT（次世代型路面電車）の整備に取り組んでいるところです。私たちは、この将来に向けたまちづくりが、これからの芳賀町・宇都宮市には必要不可欠であると考えており、その一日も早い着工・開業・延伸に向け、最大限の取組を推進してまいります。つきましては、私たちの活動にご賛同いただき、ご支援・ご協力を賜りますよう切にお願いするものであります。

LRTの早期着工を目指す市民大会実行委員会 会長 関口快流

LRTの 早期着工を目指す市民大会 報告書

〈実行委員会構成団体〉

栃木県LRT研究会、宇都宮商工会議所
特定非営利活動法人宇都宮中心商店街活性化委員会
宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会、清原地域振興協議会
清原地区自治会連合会、清原地区自治公民館連絡協議会
雷都レールとちぎ、芳賀町商工会、宇都宮ホテル旅館協同組合
駅東まちづくり21、一般社団法人宇都宮建設業協会
特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構

交通未来都市を目指して



LRTの早期着工を目指す市民大会実行委員会
会長 関口 快流
(栃木県LRT研究会会長・宇都宮商工会議所会頭)

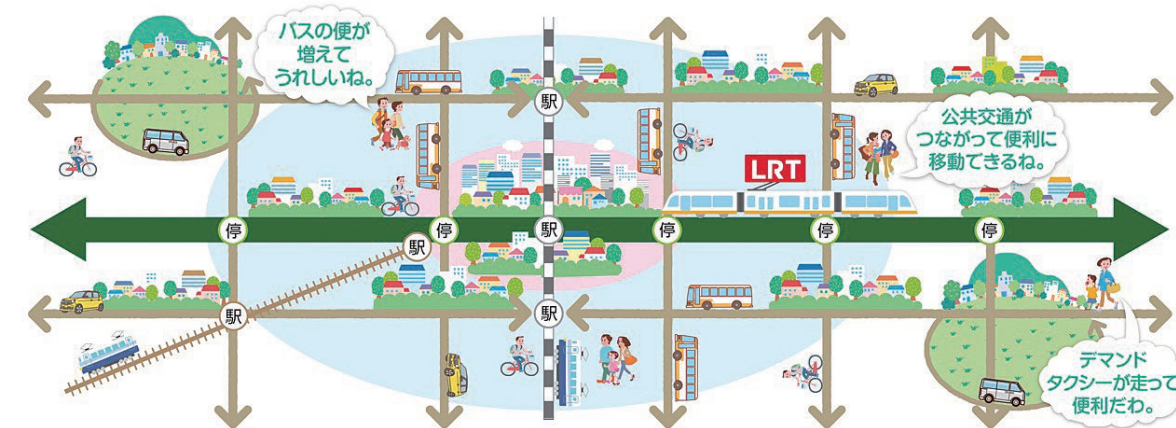
本日は、本当にお忙しい中、このように多くの皆さんにご参集をいただき、誠にありがとうございます。

また、LRT議員連盟の国会議員の皆様、そして地元の国会議員の皆様、また、県会議員の皆様、そしてLRT事業の推進に尽力をされている福田知事、佐藤市長、見目町長におかれましては、ご多忙のところご臨席をたまわり、誠にありがとうございます。

私たち実行委員会は、誰もが快適に移動することができる「交通未来都市うつのみや」の実現を目指し、その軸となるLRTが一日も早く整備されることを願い、思いを同じくする人たちが集まり、市民大会を開催することとなりました。

この市民大会の活動を通して、宇都宮市や芳賀町、また、その周辺の実に多くの皆さんが、LRTの早期開業を心待ちにしていることを強く感じました。私たちはその思いをさらに集め、行動につなげ、大きなうねりを起こしてまいりたいと思っております。

本日ご臨席の行政を代表する皆様におかれましては、この大きな賛同のエネルギーを感じていただき、一日も早い実現に向けて、ご尽力をいただけますようお願い申し上げます。



**ウチノ
税理士法人**

代表社員 内野 直忠

宇都宮市下戸祭2丁目12番14号
☎028-621-5014

**一般社団法人
宇都宮建設業協会**

会長 増渕 薫

宇都宮市築瀬町1958-1
☎028-636-5221

**宇都宮市
安全施設業協会**

会長 末永 義雄

宇都宮市元今泉7丁目31番11号
☎028-663-0230

**宇都宮市
管工事業協同組合**

理事長 和田 均

宇都宮市平出工業団地44-28
☎028-683-5600

宇都宮電設会

会長 八城 光男

宇都宮市築瀬町1958-1
☎028-639-3383

「選ばれる栃木」へ大きな期待



栃木県知事 福田 富一 氏

本日はLRTの早期着工に向けた思いをともにする多くの市民、各種団体および企業の皆様のご参加により、市民大会がこのように盛大に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。

さて、宇都宮市と芳賀町が進めるLRTは、県央地域における東西交通の基軸として、その沿線地域のみならず、周辺市町の各地とをバスなどと連携し、質の高い広域的な公共交通ネットワークを形成しようとするものであります。また、本県の産業活動をけん引する鬼怒川左岸地域の工業団地のポテンシャルを高めるとともに、県内各地に立地する関連企業への幅広い波及効果を期待され、「選ばれる栃木」の実現に大きな力を発揮することから、栃木県としても大変意義のある事業と考えております。

去る8月9日に宇都宮市、芳賀町、宇都宮ライトレール株式会社から県に、工事施工認可申請書が提出されたところであり、LRTの工事着工に向けて大きく前進したものと考えております。

県といたしましては、国内初の全線新設による歴史的なLRT事業の実現に向けまして、両市町の取り組みを支援する体制をさらに強化しておりますので、今後もさまざまな面からより一層、積極的な支援を行ってまいりたいと考えております。

本日、ご参加の皆様におかれましても、この市民大会を契機にさらに多くの市民にLRT事業への理解が促進されますよう市民レベルの機運を一層高めていくことにより、ご支援いただけることを期待をしております。

結びに本日お集まりの皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成29年9月2日
(赤松俊彦副知事メッセージ代読)

宇都宮ホテル旅館 協同組合

理事長 福田 治雄

宇都宮市昭和1-3-10
☎028-622-1225

大谷石産業 株式会社

代表取締役 高倉 公志

宇都宮市大谷町1196番地2
☎028-652-5171

掘りだそう、自然の力。

Calbee

未来を担う大動脈として



宇都宮市長 佐藤 栄一 氏

「LRTの早期着工を目指す市民大会」が盛大に開催されますことを、関口会長をはじめ、実行委員会の皆様方に心から御礼を申し上げます。さて、宇都宮市の52万人の人口は何も手を打たなければ、2050年には45万人まで減少します。高齢化率も昭和35年には12人で1人の高齢者を支えていましたが、現在は3人で1人を支えている状態です。今後、何もしなければ、2050年には肩車状態になります。支えるのは今の子どもたちやこれから生まれてくる子どもたちですが、1人で1人を支えることは困難であると思います。

宇都宮市、芳賀町のLRT計画は、栃木県、地方都市、先進国を救う大きなプロジェクトだと考えています。これからの子どもたちが支えやすい社会をつくるためには、52万人の人口が減りにくい街づくりが必要です。病院、スーパー、銀行、郵便局など、日常生活に必要なものが、各地域にきちんとそろったコンパクトな街を複数つくっていきます。そして、そのような街づくりを完成させるためには、公共交通のネットワークの構築が必要です。

地域内交通、デマンドタクシーをしっかりと配備し、それらが毛細血管のように血を送り出す。そして、その血を受けるのが中距離の移送を担うバス路線です。バス路線は静脈です。これから公共交通空白地域に静脈であるバス路線を最大限設置していきます。そして、毛細血管、静脈といった血管をきちんと機能させるのが大動脈です。

その大動脈ですが、宇都宮には現在、JR線という南北の線しかありません。そこで、東西の横軸にLRTという大動脈を入れていきます。大動脈であるLRTがなければ、バスも地域内交通も広げることができません。大動脈として鉄道とLRTが走ることで、車の運転ができなくなっても、乗り換えさえすれば様々な場所に出かけることが可能になります。ぜひ、次の世代のために新しい社会をプレゼントしましょう。LRTの早期の工事着工を実現し、2022年の栃木国体までに運行開始ができるよう頑張りますので、お力添えをお願いいたします。

北関東総合 警備保障株式会社

代表取締役社長 青木 靖典

宇都宮市不動前1丁目3番14号
☎028-639-0300

株式会社 資産管理協会

代表取締役 内野 俊輔

宇都宮市下戸祭2丁目12番14号
☎028-624-2195

菓子問屋 関口

代表取締役会長 関口 快流

鹿沼市流通センター58
☎0289-76-0790

持続可能な街づくりに不可欠



芳賀町長 見目 匡 氏

このように多くの皆様方がお集まりになりましたことは、関口会長を中心とした実行委員の皆様方のご努力と心から感謝を申し上げます。

芳賀町は持続可能な街を目指しています。働く場所をつくるため、366ヘクタールある芳賀の工業団地をさらに20ヘクタール拡張し、芳賀高校の跡地に町施工で宅地造成をしています。そして、宇都宮市とともにLRTを導入する。芳賀町だけがよくなるとお考えの方もいるかと思いますが、決してそうではないというお話をさせていただきます。

益子、茂木、市貝、芳賀町の芳賀郡北部4町では、議会議員の皆さんが「芳賀郡北部広域行政推進協議会」をつくって、郡の中で県に要望するような事項を調査研究しています。今までは道路行政ばかりでしたが、平成20年度から道路と併せてLRTの早期実現を毎年県議会、県土整備部に要望をしています。

8月28日には、知事と県内市長、町長との懇談会がありましたが、私は当然、LRT、芳賀の工業団地の拡張の支援をお願いしました。真岡市の石坂市長からも、同じように、ぜひとも早くLRT事業の早期着工完了をしていただきたいとの要望がありました。50万都市の宇都宮との連携は不可欠であるとのことでした。

芳賀郡の中でも首長、議員などでは、そのような合意形成がなされています。しかし、芳賀郡、あるいは宇都宮市、栃木県全体の住民全体ではどうかというと、難しい問題があると思います。やはり県民の方に分かっていたくためには、関口会長が本日行ってくださいましたようなこういう市民の間での推進というものが不可欠だと思います。これを契機に皆様方の支援を心からお願い申し上げます。

株式会社 高石コーポレーション

代表取締役 高石 榮子

宇都宮市川田町1051

☎028-651-0033

一般社団法人 栃木県建築士事務所協会

会 長 佐々木 宏幸

宇都宮市昭和二丁目5番26号

☎028-621-3954

一般社団法人 栃木県造園建設業協会

会 長 高梨 道太郎

宇都宮市川田町108-3

☎028-612-2246

国会議員連盟として全力で応援



衆議院議員・LRT推進議員連盟事務局長
田畑 裕明 氏

私は、富山一区が選挙区の衆議院議員を務めており、LRT議連の事務局長として宇都宮にまいりました。きょうの大会での早期着工に対する皆様の熱意に感銘を受けています。宇都宮のLRT構想は20年以上前から議論がなされてきたとお聞きしています。ようやくここにきて機が熟してきたということは、関係各位の皆様方のご尽力や多くの市民の皆様方の支えがあったからと拝察します。

私の地元、富山市では、富山ライトレールという路面電車が運行して約10年が経過しました。富山の場合、JRの枝線の廃線に伴って、バス路線にするか、軌道である路面電車に切り替えるか市民の皆さんの選択が迫られました。多くの市民の皆さんの判断で、定時運行、安定的な運行ができる路面電車を選択し、今日に至っています。多くの交通弱者の方、また、高校生はじめ通学の皆さん方が大いに利用し、従来のJR路線に比べ2.5倍近い乗降客がカウントされるようになっています。

富山はライトレール、路面電車を使ってコンパクトな街づくり、「コンパクト&ネットワーク」という国の施策に則っての街づくりを行っています。宇都宮市、芳賀町の皆さんが、全くの新設で路面電車を運行しようというのは、国内初めての試みです。産みの苦しみもあると思いますが、長期的視野に立ち、皆さん方や次の世代の方々が、安心してこの地域を生活の拠点とし、栃木県全体が発展をするという取り組みを、ぜひとも応援をさせていただきたいと思っています。

LRT議員連盟は全国の国会議員が超党派で加入をし、全国の街づくりを応援しようという取り組みを行っています。宇都宮市、芳賀町の皆様方の取り組みを、国会の場からしっかりと応援をさせていただきたいと思っています。

一般社団法人 栃木県測量設計業協会

会 長 山田 恭平

宇都宮市宝木町1丁目42番地10

☎028-622-0622

一般社団法人 栃木県地質調査業協会

会 長 喜内 敏夫

宇都宮市御幸ヶ原町57-25
芙蓉地質株式会社内

☎028-612-5671

栃木県塗装業組合 宇都宮支部

支部長 坂本 行男

宇都宮市西一の沢町8-22
栃木県林業会館3階

☎028-638-9488

■ 講演

地方はどう変わる ～LRTがもたらすもの～

衆議院議員・LRT推進議員連盟会長 逢沢 一郎 氏



きょうは「LRTの早期着工を目指す市民大会」にご案内をいただき、心からうれしく思います。本当にすごい大会になりました。一人ひとりの市民の皆さんが心を合わせて、早期着工、早期実現を目指す素晴らしい大会になったことを重ねてお祝いを申し上げたいと思います。

宇都宮は今、LRTを軸にした新しい街づくりに挑戦をしています。われわれLRT議連としても大変な期待感を持って見つめさせていただき、応援をさせていただいています。本日、将来、LRTが走る現場を少し見させていただきました。素晴らしいデザインのLRT



1954年（昭和29年）6月10日生まれ。岡山県出身・慶応義塾大学工学部管理工学科卒業後、(財)松下政経塾に第一期生として入塾、昭和60年3月同塾卒業。
昭和61年7月衆議院議員選挙初当選。外交、経済、エネルギー問題、知財戦略を軸にした競争政策に取り組んでいる。
通商産業政務次官、外交副大臣、衆議院議運委員長、予算委員長など歴任。LRT（ライトレールトランジット）推進議員連盟会長
趣味はサッカー。国会サッカーチームキャプテン。

が、さっそうと市街地を通り抜け、鬼怒川を渡り、力強く坂を登って清原工業団地に到着する。わくわくドキドキするような気持ちで視察させていただきました。

既にそのことを見越していろんな動きが出てきていることも報告で聞かせていただきました。人口が増え、地区にもいい影響が出はじめているといううれしいニュースにも接しました。この構想はご承知のように公設民営上下分離型です。国民の皆様に理解をいただいて、しっかりとした公共交通の基盤をつくるため税金を投入する、しかし、電車の運営は民間の会社の皆様に頑張っていただく。その主役が宇都宮ライトレールです。

その会社に対しても県や市からの出資に加えて、商工会議所の方々を中心とした経済界

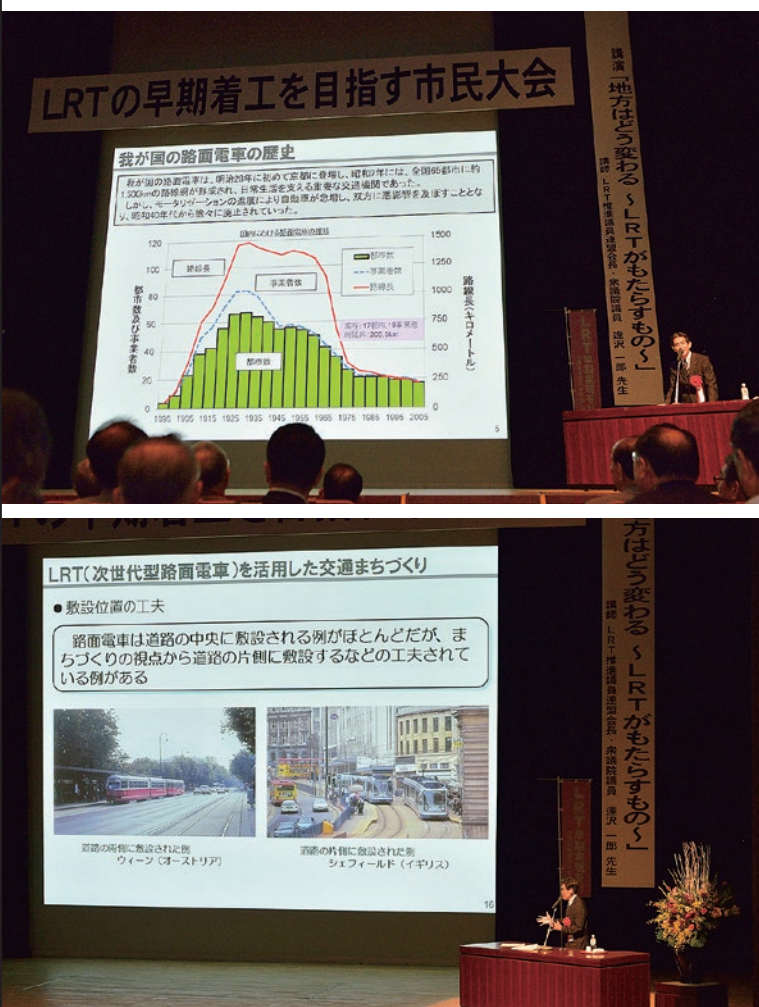
の方、既に持ち株会もでき、一人ひとりの市民の皆様にも株主になっていただける、そういう体制ができているということをお聞きしています。市民、県民総ぐるみで素晴らしいこのチャレンジが成功することを心から確信をいたしますが、幾つか乗り越えていかななくてはならない課題があることも事実です。しっかりとみんなで結束をして、その課題を乗り越えていきたいと思います。

新交通システム議連、通称LRT議連は、自由民主党、民進党、公明党、共産党の方もメンバーの超党派の議員連盟です。どのようにコンパクトシティをつくり上げていくか、

自動車がなくとも便利な移動が保証されている楽しい街とはどんな街か、与野党の垣根を越えて研究、調査、視察をする、そんな議員連盟であることを、あらためてご報告をしておきたいと思います。

さて、そのLRT、路面電車ですが、日本で最初に走ったのは、明治28年に京都だったそうです。ピーク時の昭和の前半には、全国65都市、延べ路線網は1500キロありました。だんだん自動車の時代になり、戦争を挟んで戦後は道路、自動車中心になりました。今、軌道がある、路面電車を持っている都市は、十数都市に縮小しています。





では、諸外国はどうか。1970年以降のフランスと日本と比べてみると、1970年段階では、日本の方が路面電車を持っている都市数も総延長数もうんと上位だったのですが、一気に逆転をいたしました。1985年以降、まさにフランスは右肩上がりです。日本では現在、路面電車を持つのは17都市、総延長は約200キロになりましたが、フランスは28都市、総延長数も一気に600キロとなりました。

フランス以外にもヨーロッパでは、バルセロナ、マドリード、リスボンなど、数多くの都市に路面電車、LRTが展開されています。ヨーロッパでもやはり、1945年以降、自動

車中心の時代を経験してきましたが、渋滞による環境、高齢者も子どもたちも移動ができるというような全体の政策を議論する中で、路面電車が大きく復活した。そのことにわれわれもしっかりと向き合っていきたいと思えます。

もともと国会の議連は、次世代型路面電車、未来型路面電車、LRT議員連盟でスタートしましたが、公共交通には、地下鉄、専用のレーンを持つBRT、モノレールなど、幾つかの選択肢があります。その中でなぜLRTが一番期待感を集めてきたのか、そのことにもしっかりと向き合っていきたいと思えます。大都市東京でもどんどん地下鉄をつくるのは費用対効果の面でどうなのか、そんな真剣な、ある意味深刻な議論があります。かけた投資額に対して、どれだけのものを手にできるか、費用対効果も当然、街づくりの中心テーマとして考えていかななくてはなりません。

バスに比べてLRTの方が一度に多くの人を運べます。そして何と言っても定時性、時刻通り走らせることができます。そして、モノレールや地下鉄に比べて安価に建設することができます。新たな選択肢としてそういうところにLRTの魅力がある。ヨーロッパの街づくり、都市づくり関係者からも、そういった声が寄せられているとご報告をしておきます。人を輸送しようと思うと、マイカーに一人二人乗ると、道が車でいっぱいになってしまいます。バスに置き換えるとそれが3台ですむ。しかし、LRTはわずか1両編成で十二分にその役を果たすことができます。

わが岡山でも実は岡山電気軌道という会社が路面電車を経営をしています。古い時代の都電をイメージしていただければと思いますが、そこに数年前、「MOMO」という低床式の



LRTを導入しました。高いステップをまたがなくても、乳母車、車いすの方も、自転車も容易に乗ったり降りたりすることができる。低床式の次世代型路面電車が、ヨーロッパでは主役になっています。日本でもぜひこういう形の電車車両を主役にしていきたい。われわれはそう考えています。もう一つ大切なことは環境面です。できるだけ環境負荷を小さく保ったまま、利便性を確保していく。そういう意味でも、路面電車、LRTは大変有力なツールです。

写真やNHKのBSでヨーロッパの街をさっそうと走るLRTの映像などをご覧いただいたこともおありかもしれません。また、富山に視察に行った経験をお持ちの方も多いと思いますが、世界を見渡してみますと、それぞれの街で、素晴らしいデザインの次世代型、未来型のLRTが大活躍をしています。早く日本もこういった姿をキャッチアップしたい。われわれ議連としても、そのことを念頭におきながら努力をしています。

通常、日本の路面電車は道路の中央を走るケースが多いのですが、音楽の都、芸術の都、ウィーンでは、路面電車が道路の歩道に近い

部分を走っています。この方が利用者にとってはより利便性が高い場合もあります。うかがいますと、きょう視察をさせていただいた清原工業団地のところでは、道路の中央ではなく、歩道側を走る計画であると聞きました。道路の歩道側に敷設する最高の事例として、ウィーンと宇都宮のLRTが世界に情報発信される、そんな未来をぜひ皆様とともに楽しみにしていきたいと思います。

先ほど市長さんから「公共交通をしっかりと毛細血管のように」という素晴らしいスピーチがありました。JR、そして将来必ずでき上がらなくてはならない宇都宮LRTと、バス路線網、デマンドタクシーなどを有機的に組み合わせること。LRTを降りたらすぐ反対側でバスが待っていてくれる。パーク＆ライドという言葉もすっかり日本語になりましたが、朝なら奥さんにちょっと無理を頼んで最寄りのLRTのターミナルまで送ってもらい、LRTに乗って宇都宮駅まで、というような姿が通常の朝の風景になることを、われわれも心から期待をしているところです。

先ほどフランスでは一気に右肩が上がり



なつたと申し上げましたが、フランスで最もLRTを軸にした街づくりが成功し、世界中から注目を集めている都市の一つ挙げるとすれば、ストラスブールの名前が出てこようかと思います。1994年はわずか1路線、9.8キロの営業でしたが、現在は5系統、総延長は53キロ。25年もたっていない間に一気に路線を確保できた。先ほどパーク&ライドを紹介しましたが、ストラスブールでも多くの拠点にその体制が整備をされ、関係者に高く評価をされています。

このストラスブールでは、LRTを軸にLRTと国鉄が結接されています。LRTを降りてかなり歩かなければ国鉄の駅まで到着ができない、というような不便を市民に強いわけにはいかない、という素晴らしい制度設計になっている。LRTとバスの乗り換えも非常にスムーズ。わずか距離は3メートル、5メートル、こういう状況が確保されています。車よりも人を大切に市中心街地の新しい街づくりが進んでいます。大通りの裏手は逆に自動車の行き来が確保され、商売を営む方々の利便性につながっています。自動車とLRTのベストな組み合わせが、街づくりの中心テーマになっていることを、お伝えしたいと思います。

かつて自動車中心のストラスブールの街であったのが、今はLRTと歩く人が中心の街になっている。中心市街地の素晴らしい姿、そして郊外の住宅団地では緑も大切にされる。LRTの利便性が全面に打ち出されるということを、われわれも参考にしていきたいと思います。

富山市のコンパクトシティづくり、そして路面電車富山ライトレールを軸にした新しい街づくりが全国から注目を集めています。平

成18年に、富山駅から北に向かって港に伸びるJRの鉄道を、思い切ってLRTに切り換えました。富山ライトレールが素晴らしい業績をあげて、もう10年になります。

お客さんも増えた。引きこもりがちだったお年寄りもLRTを利用して中心部に出やすくなった。街の中で一杯飲んでも、かなり遅い時間まで運行しています。もちろんタクシー会社や代行運転業などの立場の方のことも念頭におかなければなりません、一市民の立場からすれば、かなり遅くまで富山市内で飲んでもLRTに乗って簡単に家まで戻ることができる、その利便性の素晴らしさについて多くの方から聞いています。

さらに、努力をされて平成21年に環状化を成し遂げられました。中心部のところがぐるっとリングになるということです。そして平成27年春には、新幹線駅の駅舎の下まで、LRTが乗り入れました。その姿を視察をされた方も数多くいらっしゃるかと思います、富山ではそんな状況が出来上がっているわけです。

われわれLRT議連としても、この富山に大いに学んでおります。今の富山駅はLRTの終点が富山駅舎の真下になっています。つまり、東京から新幹線に乗って富山で降りて、ホームを降り、改札を出ると、目の前にLRTが、路面電車が待っている。来年には、連続立体交差、在来線を高架化する事業が完成しますと、この駅舎の下を南北に路面電車が通過することになります。

つまり、港のところから乗り換えなしで、リングの中心部にまで、あるいは富山地方鉄道と接続をする予定となっています。超有名な「おわら風の盆」まで乗り換えなしで行けるのか、そういった公共交通のモデルケースに、今まさに富山は近づきつつあります。

あえて申し上げれば、富山の森市長のリーダーシップでこのLRT、路面電車の、あるいは富山鉄道の駅の近所に集積をしていこう、人に集まってもらおう、投資するならそこにさせていただこうということで、これは大変なことであったと思いますが、固定資産税を安くする、あるいは投資に対する助成をするという思い切った政策まで展開しておられます。そうした努力がなされているということも、ご報告しておきたいと思います。

札幌と福井の例をご紹介しておきたいと思います。札幌ではこれも努力をいただき、札幌の市内、これはかなり距離がありますが、ループ化、環状化がなされました。これによって札幌の新しい街づくりが大いに進みます。そして福井ですが、福井も新幹線の駅舎が力強く建設中ですが、JR福井駅、新幹線の駅にもなるわけですが、その目の前まで路面電車が既に乗り入れをしています。

その他、池袋駅前で路面電車の構想、横浜のみなとみらい地区における一つのアイデア、私どもの地元岡山でも、JRの吉備線という少しローカルなラインですが、これを思

い切ってLRT化しようという構想と計画が進みつつあります。全国のさまざまな動きをお互いがしっかりと受け止め、それを宇都宮の力につなげていく、そのことも提案させていただきたいと思います。

自動車の利便性、これももちろん大事にしていかなければならない。でも、自動車がなくても住みやすい街をつくっていく。子どもたちのこと、お年寄りのこと、そして障害を持たれた方々の立場、渋滞を解消していく、こういうどの都市も持っている課題を、一気に解決の方向に結び付けていくこの宇都宮の挑戦、チャレンジに心から支援を申し上げたいと思います。

われわれLRT議員連盟としましても、超党派で力を結集して、よい意味で、国土交通省はじめ霞が関の皆様との連携を図りながら、もちろん栃木県民、そして宇都宮市民、お隣の芳賀町の皆様と力を合わせて、素晴らしい構想が具現化できますよう、精一杯のお手伝いをするを心からお約束をさせていただきます。みんなで力を合わせて頑張ってまいりましょう。



「LRTの早期着工を目指す市民大会」ご後援・ご協賛をいただいた皆様

【後援者名簿】(188 行政・団体・企業)

（行政関係） 栃木県 宇都宮市 芳賀町 益子町 茂木町 真岡市議会 芳賀町議会 益子町議会 茂木町議会 市貝町議会 高根沢町議会 栃木県 LRT 推進議員連盟 芳賀・宇都宮 LRT 整備推進議員連盟

（団体） 一般社団法人足利青年会議所 池上通り商店街振興組合 市貝町商工会 宇都宮オリオン通り商店街振興組合 宇都宮卸商業団地協同組合 宇都宮カクテル倶楽部 特定非営利活動法人うつのみや環境行動フォーラム 宇都宮観光コンベンション協会 宇都宮機械工業会 一般社団法人宇都宮工業団地総合管理協会 宇都宮市安全施設業協会 宇都宮市遺族会連合会 宇都宮市観光土産品協会 一般社団法人宇都宮市歯科医師会 社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会 社会福祉法人宇都宮市障害者福祉会連合会 うつのみや市商工会 宇都宮市商店街連盟 宇都宮市消費者友の会 宇都宮市ソフトボール協会 宇都宮市農村生活研究グループ協議会 宇都宮市もったいない運動市民会議 宇都宮ジャズ協会 宇都宮商工会議所女性部 宇都宮商工会議所青年部 公益社団法人宇都宮青年会議所 宇都宮青年会議所シニアクラブ 宇都宮鳶工業組合 宇都宮農業協同組合 宇都宮二荒ライオンズクラブ 宇都宮ユニオン通り商店街振興組合 大谷石材協同組合 一般社団法人黒磯那須青年会議所 一般社団法人建設コンサルタンツ協会関東支部栃木地域委員会 一般社団法人佐野青年会議所 公益社団法人全日本不動産協会栃木県本部 高根沢町商工会 中央地区自治会連合会 東武馬車道通り商店街振興組合 公益財団法人栃木県アイバンク 栃木県印刷工業組合 一般社団法人栃木県 LP ガス協会 栃木県瓦工事業組合連合会 栃木県観光物産協会 栃木県行政書士会 一般社団法人栃木県銀行協会 一般社団法人栃木県経営者協会 公益社団法人栃木県経済同友会 一般社団法人栃木県建設業協会 一般社団法人栃木県建築構造設計事務所協会 一般社団法人栃木県建築士事務所協会 栃木県建築設計協同組合 栃木県興行生活衛生同業組合 栃木県工業団地管理連絡協議会 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会 栃木県コンクリート製品協同組合 栃木県左官業協同組合 公益社団法人栃木県サッカー協会 公益財団法人栃木県産業振興センター 栃木県障害福祉振興連盟 一般社団法人栃木県商工会議所連合会 栃木県商工会連合会 栃木県商店街振興組合連合会 公益社団法人栃木県食品衛生協会 栃木県信用保証協会 栃木県青年経営者中央会 一般社団法人栃木県設備設計事務所協会 一般社団法人栃木県造園建設業協会 一般社団法人栃木県タクシー協会 栃木県中央生コンクリート協同組合 栃木県中小企業団体中央会 栃木県農業協同組合中央会 栃木県法面保護施設業協会 一般社団法人栃木県バス協会 公益社団法人栃木県ビルメンテナンス協会 公益社団法人栃木県不動産鑑定士協会 一般財団法人栃木県野球連盟 一般社団法人栃木県幼稚園連合会 栃木県料理業生活衛生同業組合 栃木県旅館ホテル生活衛生同業組合 一般社団法人栃木青年会議所 とちぎライトレール支援持株会組合 豊郷地区社会福祉協議会 豊郷地区体育協会 豊郷地区婦人会 豊郷地区豊かな郷づくり推進協議会 豊郷地区連合自治会 豊老連 一般社団法人日光青年会議所 にのみや商工会 一般社団法人日本競輪選手会栃木支部 一般社団法人日本食鳥協会栃木県支部宇都宮食鳥鶏卵同業組合 公益社団法人日本青年会議所関東地区栃木ブロック協議会 一般社団法人日本補償コンサルタント協会関東支部栃木県部会 芳賀町観光協会 社会福祉法人芳賀町社会福祉協議会 益子町観光協会 益子町商工会 真岡商工会議所 一般社団法人真岡青年会議所 茂木町観光協会 茂木町商工会 （五十音順）

（企業） 有限会社赤荻保温工業 株式会社足利銀行 株式会社安藤設計 株式会社飯村石材工業 株式会社池澤設計 有限会社池田緑商店 有限会社石川印刷所 有限会社いづみ総業 株式会社井上総合印刷 株式会社イリヤマ興業 ウチノ税理士法人 宇都宮共和大学 宇都宮創遊倶楽部 宇都宮短期大学 宇都宮屋台横丁 宇都宮ライトレール株式会社 株式会社エフエム栃木 株式会社大久保 金澤石材店 瓦作大谷石材加工有限会社 関東自動車株式会社 有限会社北戸室石下石材店 協新電工株式会社 株式会社 GRAND DESIGN クリエイトTAKE 光陽電気工事株式会社 コクヨ北関東販売株式会社 サイクススポーツマネージメント株式会社 作新学院大学 サトウカメラ株式会社 ジェイアールバス関東株式会社 株式会社資産管理協会 株式会社下野新聞社 有限会社随想舎 有限会社鈴木石材工業 第一測工株式会社 大協商株式会社 株式会社大心堂 有限会社高橋佑知商店 株式会社タニグチ 東京瓦斯株式会社宇都宮支社 東京電力パワーグリッド株式会社栃木総支社 東武建設株式会社宇都宮支店 東野交通株式会社 株式会社栃木銀行 株式会社栃木建築社 株式会社栃木サッカークラブ 株式会社とちぎ産業交流センター 栃木信用金庫 とちしん宇都宮経済クラブ 株式会社とちぎテレビ 株式会社栃木放送 株式会社栃雪 豊郷元気！スポーツクラブ トヨタウッドユーホーム株式会社 日神工業株式会社 株式会社農住センター パーンストーン株式会社 株式会社福田屋百貨店 富士通株式会社栃木支店 フタバ食品株式会社 フルテック株式会社宇都宮支店 医療法人報徳会宇都宮病院 有限会社ホサカ石材工業 株式会社ホテルニューイタヤ 株式会社本澤建築設計事務所 株式会社箕輪製作所 宮原重車輛株式会社 株式会社ミヤマホーム 株式会社村上 ヤマタカ造園 リコージャパン株式会社栃木支社 LA 事業部 有限会社リストラクト （五十音順）

【協賛団体名】(31 団体・企業)

株式会社足利銀行 ウチノ税理士法人 一般社団法人宇都宮建設業協会 宇都宮市安全施設業協会 宇都宮市管工事業協同組合 宇都宮電設会 宇都宮ホテル旅館協同組合 大谷石産業株式会社 カルビー株式会社 北関東総合警備保障株式会社 株式会社資産管理協会 株式会社関口 株式会社高石コーポレーション 一般社団法人栃木県建築士事務所協会 一般社団法人栃木県造園建設業協会 一般社団法人栃木県測量設計業協会 一般社団法人栃木県地質調査業協会 栃木県塗装業組合宇都宮支部 一般社団法人栃木県舗装協会 とちしん宇都宮経済クラブ トヨタウッドユーホーム株式会社 トヨタカローラ栃木株式会社 株式会社農住センター 藤井産業株式会社 フタバ食品株式会社 芙蓉地質株式会社 株式会社ベルシステムズ 株式会社ベルモール 株式会社ホテルニューイタヤ 株式会社ミヤマホーム 株式会社ユニオントレード （五十音順）

「LRT の早期着工を目指す市民大会」の開催にあたり、ご協賛・ご尽力いただきました皆様に、深く感謝申し上げます

LRT の早期着工を目指す市民大会実行委員会
会長 関口 快流

トヨタカローラ栃木 株式会社

代表取締役 喜谷 辰夫

宇都宮市上横田町798番地

☎028-658-2221

一般社団法人 栃木県舗装協会

会 長 岩澤 理夫

宇都宮市昭和3-1-26

☎028-622-6082

とちしん 宇都宮経済クラブ

会 長 本澤 宗夫

宇都宮市中央1丁目9番4号

☎028-633-2111

 TOYOTA WOODYOU HOME

代表取締役社長 中津 正修

宇都宮市一ノ沢町256-7

☎028-627-7777 （代表）

株式会社 農住センター

代表取締役 内野 俊輔

宇都宮市下戸祭2丁目12番14号

☎028-625-1289

藤井産業株式会社

代表取締役社長 藤井 昌一

宇都宮市平出工業団地41番地3

☎028-662-6060


FUTABA
フタバ食品株式会社

代表取締役社長 増渕 正二

宇都宮市一条4丁目1番16号

☎028-634-2441

児童や生徒、学生による発表風景



会場では子どもたちが持ってきてくれた LRT の作品がスライドで紹介された。街の中を LRT が走る様子がカラフルに描かれています



夢いっぱい LRT を描いた子どもたち。人々が便利に利用する姿が表現されています

芙蓉地質株式会社

 代表取締役 喜内 敏夫

 宇都宮市御幸ヶ原57-25
☎028-664-3616

**株式会社
ベルシステムズ**

 代表取締役 鈴木 一雄

 宇都宮市陽東6-2-1 ベルモール内
☎028-662-7860

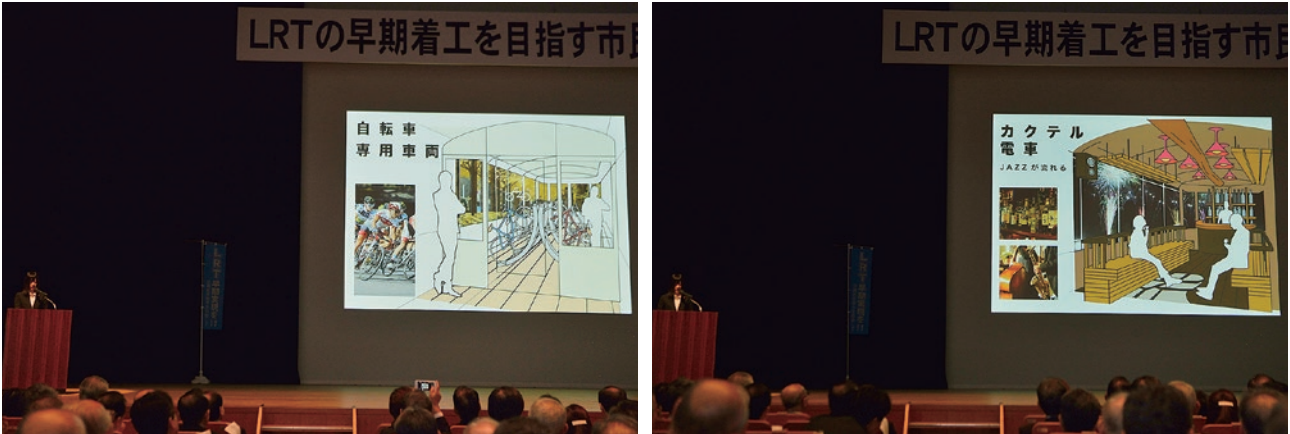
株式会社ベルモール

 代表取締役 鈴木 一雄

 宇都宮市陽東6-2-1
☎028-613-5531



富山市を訪ね、LRT に乗車した体験を語る宇都未来クラブ (UFC) 会長の武田伊織さん



宇都宮メディア・アーツ専門学校の岩瀬莉奈さんと江川昌樹さんが、LRT のデザインや運行後の利用方法を提案

**株式会社
ホテルニューイタヤ**

 代表取締役 田島 久夫

 宇都宮市大通り2-4-6
☎028-635-5511

住まい × 心地よさ


MIYAMA HOME
www.miyamahome.co.jp/

**株式会社
ユニオントレード**

 代表取締役 鈴木 一雄

 宇都宮市駒生町1417-17
☎028-652-8755

LRTで未来がはじまる ～MOVE NEXT～



公務後、会場に駆けつけてあいさつをする福田知事。県としての期待を表明しました



20年来の悲願が実現

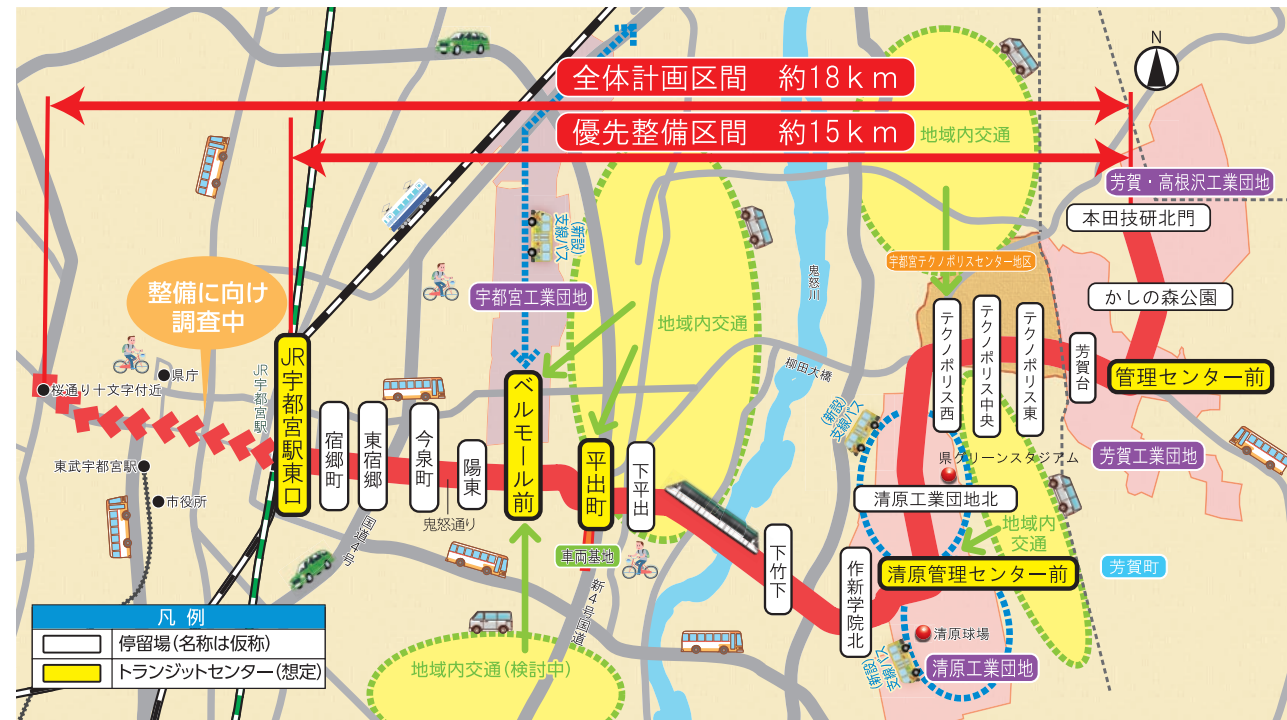
参議院議員・国土交通大臣政務官 高橋 克法 氏

遅れまして申し訳ありません。きょう西方の道の駅で、国土交通省と栃木市とがコラボレーションして、自動運転の実験が始まったのです。今まで国土交通大臣政務官としてそちらに出ていました。ただし、今日ここに来たのは、政務官としてではありません。20年前、福田富一宇都宮市長の時代から、私は高根沢町の町長として、LRTこそ地方都市の未来を開くという信念に基づき、福田知事、佐藤市長と一緒に取り組んできました。いよいよ私たちの正しい考え方が実現できるステージに来ました。力を合わせてやっていきましょう。

会場ア・ラ・カルト



宇都宮東部地域のLRT導入ルートと将来公共交通ネットワークのイメージ



市民大会決議

宇都宮都市圏は、美しい自然環境と高度な都市機能を併せ持ち、
商工農がバランス良く発展する中核都圏として発展を続けてきました。
しかしながら、道路ネットワークの整備やモータリゼーションの進展に伴い、
全国でも有数な自動車交通に過度に依存した都市圏となっております。
芳賀町・宇都宮市におきましては、人口減少、少子超高齢社会への対応、
環境負荷の低減、地域の活性化などの観点から、
さまざまな交通手段を組み合わせた公共交通の構築により、
子どもから高齢者まで、誰もが快適に移動することができ、
人が生き活きと暮らし、
企業が活発に活動する「交通未来都市うつのみや」を目指し、
その軸となるLRT(次世代型路面電車)の整備に取り組んでいるところです。
私たちは、この将来に向けたまちづくりが、
これからの芳賀町・宇都宮市には必要不可欠であると考えており、
その一日も早い着工・開業・延伸に向け、最大限の取組を推進してまいります。

平成 29 年 9 月 2 日



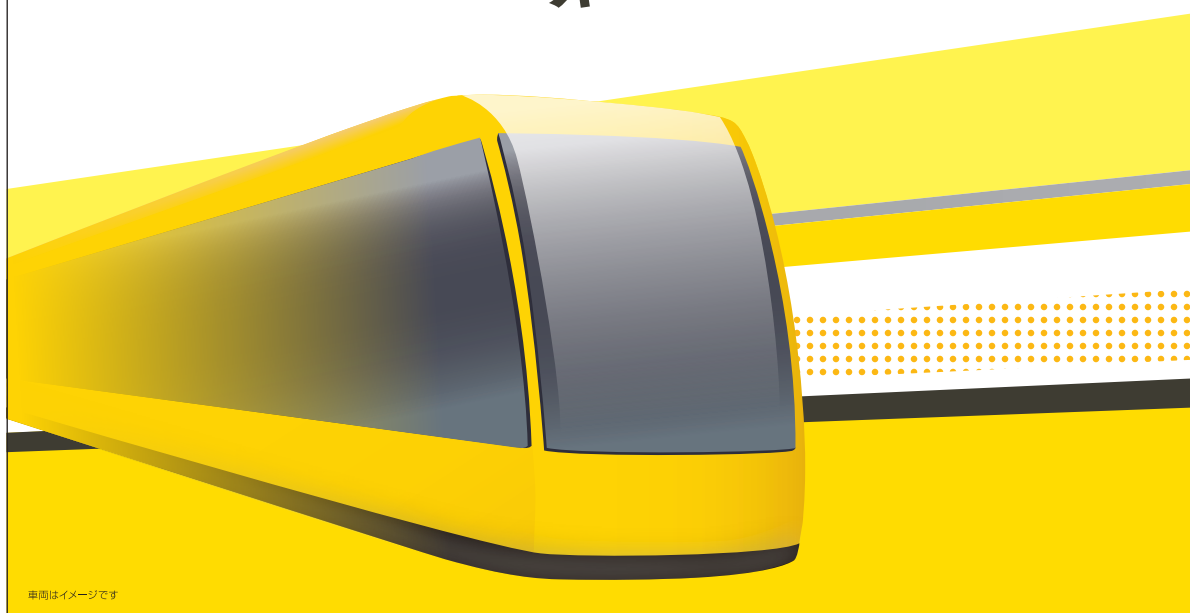
※写真はイメージです

LRT
Light Rail Transit



UTSUNOMIYA
LRTからはじめる、次の暮らし

未来、はじめる。



車両はイメージです

LRTの早期着工を目指す市民大会実行委員会事務局
(特定非営利活動法人 宇都宮まちづくり推進機構内)

〒320-0806 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号 栃木県産業会館2階

TEL:028-632-8215 / FAX:028-636-7421

E-mail:u_kikoh@ucatv.ne.jp